ROTARY CLUB OF HEKINAN WEEKLY

Rotary

# 碧南ロータリークラブ週報

第３０２７回例会 令和４年９月７日(水)

●会長 長田 和徳
●幹事 清澤 聡之
●会場監督(SAA) 樅山 朋久

2022-2023 年度　国際ロータリーのテーマ

イマジン ロータリー

■例会日　毎週水曜日　12:30　■例会場　碧南商工会議所ホール
■事務局　碧南商工会議所内　〒447-8501　愛知県碧南市源氏神明町 90
TEL<0566>41-1100　FAX<0566>48-1100
ホームページ：http://www.hekinan-rc.jp
E-mail:info@hekinan-rc.jp
■会報委員　鈴木　洋・長田一希・杉浦保子

## ●本日のお弁当

大正館

## ●本日のお客様

碧南市スポーツ少年団　副本部長　岡田一穂様
碧南市スカウト育成連絡協議会
　ボーイスカウト碧南第２団　団委員長　奥谷雅憲様

## 会　長　挨　拶

長田和徳会長

皆さん、こんにちは。

心配していた大型の台風も直撃を免れまして、今日も太陽が出ていますし、朝になるとちょっと涼しい風が来て、秋の気配を感じる今日この頃です。

本日は青少年活動の助成金贈呈と活動報告をいただくことになっております。日本でボーイスカウトが結成して丁度 100 年、奇しくも日本ロータリークラブ創立も 100 年であります。そういえば、日本商工会議所も 100 周年です。ということで、100 年を振り返って 1920 年代はどんな時代だったかということを調べてみました。

日本では 1923 年 9 月 1 日に関東大震災が発生し、10 万人が亡くなりました。ですから、防災の日が 9 月 1 日というのは関東大震災からきております。米山さんが日本のロータリー活動を本格化したきっかけは、この関東大震災の復興に対する活動だということを聞いております。日本のボーイスカウト結成も 1922 年と同時代なので、「そなえよつねに」という言葉は関東大震災を経験して培われたんじゃないのかなぁと思っております。

もう 1 つ見ていて面白いなぁと思ったのが、ソビエト連邦の成立についてです。当時の最高指導者のレーニンさんと党書記長のスターリンさんがやったんですけれども、ウクライナとベラルーシを合併させてソビエト連邦と名乗ったのが 1922 年の 12 月だそうです。プーチ

ンさんはスターリンさんを崇拝しておりますので、丁度 100 年後の 2022 年の 12 月に 100 周年を祝って、ウクライナと合併したかったのではないかと思いました。

振り返ってみれば、大量生産とグローバル化で、一部の人だけが富を占領している時代から民衆の時代に移行してきたように思えます。碧南のようなこんな片田舎でも、都会と同じ生活ができるようになったことは、裕福な時代になったと思います。

これからの 100 年はどうなるかわかりませんけれども、きっと楽しい時代が来るんじゃないかと思います。ということで、今日は丁度 100 年の節目で色々と考えたことをお話しさせていただきました。

今日も 1 日よろしくお願い致します。

## 幹　事　報　告

清澤聡之幹事

幹事報告を申し上げます。

- ロータリーレート変更のお知らせです。現行 1 ドル 133 円から 139 円になりました。
- ガバナー月信 9 月号掲載のお知らせが届いております。
- ロータリー文庫運営委員会より「ロータリー文庫 決算報告・予算書」が届いております。
- ロータリーの友事務所より「ロータリーの友 創刊 70 周年 俳句コンテスト開催のご案内」が届いております。
- 刈谷 RC より 2022-2023 年度クラブ事業計画書が届いております。
- 第 2830 地区からガバナーを通じて、青森大雨災害の義援金のお願いが届いておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。
- 本日の例会終了後に理事会を開催致しますので、関係各位におかれましては、ご出席をお願い致します。

## 委　員　会　報　告

**＜出席奨励ニコボックス委員会＞**

| | |
|---|---|
| 総会員数 60 名（内出席免除者 15 名の内出席者 9 名）出席者 46 名 | |
| 出席対象者　46／54 名 | 出　席　率　　85.19% |
| 欠席者 14 名（病欠者 1 名） | |

**＜ニコボックス＞**

**角谷　信二君**　　長田会長、清澤幹事、勉強になりました。

**清澤　聡之君**　　スカウト活動に御支援賜わり、ありがとうございます。

**杉浦　保子君**　　ロータリーの友俳壇 9 月号に掲載していただきました。季語は「実梅」で

す。当店の梅の木に今年も実梅が実りました。見つけた時のうれしい思いを句にしました。

＜親睦活動委員会＞

会員誕生日

１２日　長田　豊治君　　１３日　岡本　明弘君（古希）

２５日　石川　鋼逸君

奥様誕生日

１５日　長田　和徳君の奥様　真由美様　　２１日　竹中　　誠君の奥様　みのり様

２６日　森田　雅也君の奥様　千恵子様

結婚記念日

２日　梶川　光宏君・久実子様　２１年　　２４日　黒田　昌司君・みゑ子様　４３年

２６日　山中　寛紀君・恭子様　　４０年　　３０日　杉浦　邦彦君・真理子様　２１年

## クラブフォーラム

### 「青少年活動の助成金贈呈及び活動報告」

**碧南市スポーツ少年団　副本部長　岡田一穂様**

岡田一穂様

只今は貴重な貴クラブ様の助成を賜り、厚く御礼申し上げます。私、碧南市スポーツ少年団の会計を担当する副本部長の岡田一穂と言います。本来ならば、本部長の伴野がこの席に赴き、御礼を述べますところでございますが、所用ができまして、私が代理とさせていただいておりますこと、ご容赦賜りたいと思います。

碧南市スポーツ少年団は西三河支部大会の開催地となったことをきっかけに、今から 35 年程前に創設されました。当時は子供が主役の団体として、総会の進行などの業務を子供たちに体験してもらい、スポーツ以外にも社会性を学ぶ場としての役割を果たしたものと思っております。

この少年団の創設から現在に至るまでの間、各団体から選出された方々の尽力と理解を受けて、現在に至っている訳でございますが、その時からの在職者は私だけになっております。今一度、気を引き締めて務めたいと感ずる次第です。

現在、スポーツ少年団には「空手道・卓球・サッカー・剣道・野球・新体操・ソフトテニス・陸上・バスケットボール」の 9 種目 30 団体、総数 1,192 人の小中学生が加入しております。市内の小学校 7 校に 3,975 人、中学校 5 校には 2,098 人が在校しており、その内、小学生 1,173 人、中学生 19 人が加入しておりますので、約 2 割の子供たちが私共の少年団に加入していることになります。

令和 3 年度の決算を見ますと、歳入額は 1,351,221 円で、歳出額は 1,152,391 円、次年度

へは 198,830 円を繰り越しております。令和 4 年度において、予算額に大きな変わりはないですが、指導者の知識向上、レベルアップの為の指導者講習会として「スポーツ栄養学その2」をテーマに開催していくよう、準備を進めております。昨年、「スポーツ栄養学」をテーマに開催した指導者講習会では、朝食・昼食・夕食にどんなものを食べれば良いかということを専門の方に説明していただきましたので、意外と参加率が良かったです。なので、今年も同じことをやることになりました。

平成 29 年 10 月、日本スポーツ少年団顕彰において、私共のスポーツ少年団が顕彰されました。今、体育館に飾ってあります。愛知県内においては 4 団体が愛知県教育会館において表彰されており、その時の表彰の基準は、

1. 永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある市区町村スポーツ少年団を表彰する。

これに該当するということで、表彰されました。因みに私個人ではありますが、同年、愛知県スポーツ少年団の表彰を受賞し、令和元年 11 月には、

2. 永年にわたりスポーツ少年団の指導・育成に貢献し、特に顕著な功績のある登録指導者を表彰する。

ということで、日本スポーツ少年団より顕彰を受賞させていただきました。この顕彰は個人として、碧南市として初めてであり、これらのことから令和 3 年 4 月 5 日に碧南市から市政功労者として表彰をされております。

次第を拝見致しますと、まだまだ沢山の案件があるようでございますので、私からのご報告はこれにて終えさせていただきます。これからも青少年の健全な育成を目指して、私共、碧南市スポーツ少年団は鋭意努力をしてまいりますので、改めて、皆様のお力添えを今にも増して、特に増し、増しまして、お願いするものであります。

本日はお招きいただき、誠にありがとうございました。

**碧南市スカウト育成連絡協議会**
**ボーイスカウト碧南第２団　団委員長　奥谷雅憲様**

奥谷雅憲様

ご紹介いただきました奥谷でございます。本年も多大なる助成金をスカウト育成連絡協議会にいただきましたこと、まずもって御礼申し上げます。ありがとうございます。

ロータリーの例会には 2019 年と 2021 年にお邪魔させていただいておりますので、本日で 3 回目になります。毎年、2 つのことで緊張している訳ですが、1 つがロータリアンの皆さんの前でお話をさせていただくということで、それから、もう 1 つは初めてここへお邪魔した時に「どれくらいお話をしたらいいですか？」と伺ったところ、「スタートはわからないけど、終わりは 13 時 25 分にしてほしい。」と言われまして、いつも原稿なしで時計を見ながら調整をさせていただいております。今回は更にもう 1 つプレッシャーがありまして、先程、会長のご挨拶の中にボーイスカウトのネタが出てきてしまっ

たので、どうしようかと思っております。

本年がボーイスカウト日本連盟の創立 100 周年ということですが、ボーイスカウトの活動の中に 4 年に 1 度開催されます、日本では日本スカウトジャンボリーというものがございます。各国においても同様にナショナルスカウトジャンボリーというものを開催しております。

本年は東京を主会場にして日本スカウトジャンボリーが開催される予定だったんですが、一昨年からのコロナの影響でオリンピックが延期されまして、会場の一部がオリンピックの会場の跡地を利用する予定でおりましたので、その整備が間に合わないということと、未だに続くコロナ禍で全国のボーイスカウト 3 万人が一堂に会して 6 泊のキャンプを行うということは非常に危険が伴うということから、地域に分散しての開催になりました。

愛知県は新城の吉川野営場で 360 名の子供たちが集まり、それを支援するスタッフを含めて、全部で 500 名のボーイスカウトが集まって活動をしました。コロナ禍ということと、開催が 8 月 5 日～10 日ということで、皆さんも記憶に新しいところだと思うんですが、7 月の後半からコロナ感染者が激増している状況下で、開催するのか否かということも含めて検討をして、対策を講じて行いました。対策としては、会場に医師と看護師を数名常駐させ、防護服も用意するという対策で、もし途中で発熱者が出た場合にはその場ですぐに PCR 検査を行い、必要に応じて一緒に生活をしていた仲間たちも帰宅させるようするということで開催しました。結果として開催期間中、500 名の中から 2 名の陽性者が出ましたが、広がることなく終えることができました。それではここで今回の動画をご覧いただきたいと思います。

ありがとうございました。今、ご覧いただきました動画は子供たちが撮影したものを Wi-Fi で飛ばして 1 か所にデータとして集めて、それを仲間たちが編集をし、その場所ですぐに Wi-Fi で Facebook にアップしたものになります。これが日本中のあちこちの会場で同じようにやられておりました。仲間の中には色んな特技を持った者がいるということで、自分たちで全てをやってしまうこと、こんなことが子供たちでやれる時代になったということに凄いなぁと感心をしてしまいました。

この愛知大会の後、すぐに碧海 5 市のジャンボリーサマーということで、長野県の根羽村にある安城市の小中学校が林間学校を行う施設で、70 名程の規模で開催しました。こちらは医師等の配置ができないものですから、途中で発熱者が出た場合にはどのような状況であっても中止をするというふうにしました。残念ながら、途中で 1 名の発熱者が出た為に保護者の皆さんにお迎えに来ていただくことになりました。

ボーイスカウトの活動の中で奉仕を通してということですが、「そなえよつねに」というのが奉仕に対してだけではなくて、日常生活においても、自分が取り組む色んなことに対しても備える。災害に対してだけではなく、心の上でも何かスッと手が出せられるようにという思いを持って日常生活を送れればということで、子供たちに伝えております。

我々も想定できないことが沢山ある中で、少しでもスカウトが快適に楽しい野外活動を行えるように、そして、ボーイスカウト運動の最大の目的であります社会に出て役立つ人材の育成にこれからもこの運動を通して貢献していけたらと思っております。

本日はどうもありがとうございました。

## 次回例会案内

令和４年９月２１日（水）定款第７条第１節（ｄ）（１）による休会
令和４年９月２８日（水）
　卓話「消防団のあゆみ　～纏にまつわるエトセトラ～」
　碧南市消防団　団長　杉浦清貴氏、副団長　岡島晋一氏